

# 競技注意事項

## 1 規則について

本競技会は2023年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項によって実施する。

## 2 競技場の入場及び競技者受付と競技者インフォメーション（TIC）について

- (1) 競技場への入場は、プログラム記載の会場図を参考に、係員の指示に従って行動すること。
- (2) 学校・団体受付をTIC（メインスタンド正面入り口に設置する）にて行う。
- (3) 開門時刻は、全日程ともに8時00分とする。  
※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。
- (4) 競技者・指導者・引率者は入場の際に、手指消毒及び検温を行うこと。
- (5) プログラムに訂正箇所（氏名、フリガナ、学年、所属等）がある場合は、出場する競技の90分前までにTICに申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (6) プログラムは、残部がある場合に限り、10時00分よりTICにて販売する。
- (7) 記録証は1部300円で発行する。希望者は、1日目は15:00までに、2日目は14:00までにTICに申し出ること。

## 3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスおよび腰ナンバー標識、安全ピンは主催者が用意する。
- (2) アスリートビブスは配付されたままの大きさで、胸・背の四隅をしっかりと止めること。跳躍競技に出場する選手は胸・背のどちらか片方だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技者係で受け取り、ランニングパンツの右側上部、記載の数字が身体の真横の位置となるように注意して付けること。

## 4 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、（競技運営上、一時的に制限することがある。）指定された場所・時間の範囲内で各々が事故防止に万全を期して行うこと。
- (2) 競技場内（競技区域内）に入場できるのは、ウォーミングアップの際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者・引率者等の立ち入りは認めない。※指導者・引率者等は競技場内のスタンドから助言（指導）を行うこと。
- (3) 練習を競技区域内で行う際には、入退場は100mスタート側からのみ可とする。
- (4) トラック競技の練習は9時45分までトラック全周を使用してよい。但し、ハードルが設置されるレーンに注意すること。9時45分以後は競技役員の指示に従ってバックストレートで練習することができる。
- (5) ハードルの練習については以下の通りとする。

種別	設置レーン	場所	時間
共通男子 110mH	6～8 レーン	メインストレート	8:20 ～ 9:45
共通女子 100mH	3～5 レーン	メインストレート	8:20 ～ 9:45
	6・7 レーン	バックストレート	9:30 ～ 10:00

(6) フィールド競技の練習は競技開始前に各競技実施場所で競技役員の指示に従って行うこと。

## 5 招集について

- (1) 競技者の招集は、競技日程に記載された開始・完了時刻の間に招集所（メインスタンド下・100mスタート地点後方のAゲート裏に設ける）にて行う。なお、招集完了時刻に遅れた者は、競技に参加しないものとして取り扱う。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集の際、腰ナンバー標識を受け取り、所定の位置に固定してから競技場所へ向かうこと。

## 6 競技について

- (1) 競技用靴について、以下のとおりとする。
  - ① 本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下とする。
  - ② 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。

トラック種目（800m未満）	20mm
トラック種目（800m以上）	25mm

フィールド種目：日本陸上競技連盟から発出された、TR5.5の適用除外措置を適用する。

- (2) トラック競技の走路順・フィールド競技の試技順はプログラムに示した順とする。
- (3) 走幅跳、砲丸投の試技は3回とする。
- (4) セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (5) 800mのスタートはオープンレーンで行う。
- (6) リレーのメンバー変更についてメンバーのうち少なくとも2人は、そのリレーチームに登録した競技者でなければならない。この要件を満たしている限りは、同一団体に他の種目にエントリーしている競技者を出場させることもできる（TR24.10）。複数チームをエントリーしている場合はチーム間でのメンバー移動を認めるが、同一の競技者が複数のチームで出場することはできない。
- (7) リレーにおける第1、第2、第3走者はテイクオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまること。
- (8) リレーのスタート用マーカーは各チームで用意し、レース後はチームで責任もって外すこと。
- (9) 競技（練習）で使用する用器具は競技場備え付けのものに限る。但し、練習時のバトンは除く。
- (10) ハードルは次の規格で行う。

種目	スタート～第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
男子110mH	13.72m	0.914m	9.14m	10台	14.02m
女子100mH	13.00m	0.762m	8.00m	10台	15.00m

- (11) 投てき用器具の重量は次の通りとする。

区分	種目	重量
共通男子	砲丸投	5.000kg
共通女子	砲丸投	2.721kg

(12) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	競技
共通 男子	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後最後の1人になるまで3cm刻み
共通 女子	1m05 1m30	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	以後最後の1人になるまで3cm刻み

※全体での順位付けは行わず、同記録であってもジャンプオフは行わない。

(13) 走高跳のバーの上げ方は、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。

(14) グラウンド内は、原則として全て競技区域とする。従って、競技中の助言(指導)は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。グラウンド内からの競技中の助言(指導)は、審判長による警告(イエローカード)及び除外(レッドカード)の対象となる。

## 7 更衣室について

2A・2B更衣室を女子用、3A・3B更衣室を男子用とする。更衣のみ行い、荷物を置かないこと。

## 8 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議を行う場合は、その種目の競技結果が電光掲示板により正式発表されてから30分以内にチームの公式な代表者がTICに申し出ること。

## 9 新型コロナウイルス等感染拡大防止について

競技者及び来場者に関して

- (1) 感染症対策については、各自で感染予防に努めること
- (2) 来場にあたっては、3つの密(密閉、密集、密接)を避けた行動を推奨する。
- (3) マスクについては個人の判断に任されているが、人が密集する場所では、着用を推奨する。
- (4) 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中及び快復後十分な時間を経過していない場合には競技会へ参加しない、また競技会場において観戦しないこと。
- (5) 発熱、咳嗽等の症状がある者は競技会に参加しない、また競技会場において観戦しないこと。
- (6) こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を励行すること。
- (7) 日々の体調管理を推奨する。

## 10 その他

- (1) 競技者、競技役員及び大会総務から許可を受けた者以外の競技区域への立ち入りは、競技運営に支障をきたす恐れがあるため禁止する。
- (2) 申込み後の種目の変更は認めない。
- (3) スタンドでの盗難・置き引きには各自が十分に注意すること。主催者は一切の責任を負わない。
- (4) 傷害・紛失・その他の事故やトラブルについて、応急処置を除き主催者は一切の責任を負わない。
- (5) 開場時刻は8時00分とし、入場口はメインスタンド正面の門とする。
- (6) 各競技実施場所への入場は必ず競技者係の誘導に従うこと。
- (7) 場内におけるウォーミングアップは、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (8) 本部前は通行禁止とする。また、セーフティコーン設置場所には立ち入らないこと。
- (9) 各自が出したゴミは必ず各自で持ち帰ること。

- (10) 競技場内の整備に努め、帰るときは自席周辺の清掃を行うこと。
- (11) 届けられた遺失物については、T I Cで競技終了時まで保管する。
- (12) その他不明な点は競技者T I Cに問い合わせること。

競技会コード	23	13	3301
競技場コード		132090	